

令和7年度 江南区組織目標

組織名	江南区	区長	江南区長 坂井 玲子
組織の目的・方向性	「区ビジョン基本方針」に掲げた区の将来像である「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」を実現するため、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを進めます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・障がい者を理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

江南区組織目標

江南区では、新潟市総合計画 2030 及び江南区区ビジョンまちづくり計画に掲げる区の将来像「緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち」の実現に向けて、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 大規模な災害に対応するため、区民との協働により地域防災力を向上させます。
- 2 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。
- 3 歴史ある亀田縞など地域に根差した産業の振興と活性化に向けた取り組みを推進します。
- 4 障がいのある人に対応した就労の場の確保等に、商・農業者と連携して取り組みます。
- 5 市民サービスの向上に向け、業務や窓口の改善を推進します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	1 防災訓練の実施支援や助成、ジュニアレスキュー隊育成講習会、出前講座を実施しました。自主防災組織の訓練実施数は継続的な声掛けにより、コロナ禍前の水準に戻すことができました。加えて、亀田西小学校・亀田東小学校の避難所運営委員会と周辺自治会、区内コミ協・防災士などを対象に、避難所運営模擬体験会を初開催し、避難所運営の難しさと重要性を体感してもらいました。 2 市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用が図られるよう、都市計画区域の見直しを進めるため、北陸農政局などの関係機関と協議を行いました。 3 タペストリーの設置、亀田縞と区の魅力を発信する情報紙発行、日常の風景で亀田縞に触れる空間や時間を創出する事業、昨年度に立ち上げた、若者をターゲットにした明るい色の 2nd ラインの拡張に係る事業の実施など、認知度向上や活用促進に向けた取り組みを進めました。				

	4 区内の商・農業者と障がい福祉事業所によるマッチングを促し、亀田縞ハンカチの製造やとうがらしの収穫など様々な仕事の受注を通して、障がい者のやりがいを生み出す就労機会の創出と商・農業分野における多様な人材活躍を促進しました。また、複数の障がい福祉事業所が協同する生産体制を構築、亀田縞商品や藤五郎梅干しなど地域特産品を生かした授産品を製造し、イベントや飲食店などでの販売を通じて、商品PRを兼ねた取組のプロモーションを行いました。 5 市民サービスの向上を目的とした改善や課内研修を積極的に実施し、業務の効率化や市民対応の質の向上を図りました。
今後の方向性	1 継続してきた自主防災訓練の実施支援に加え、避難運営訓練の促進に力を入れ、地域防災力の向上を図ります。 2 引き続き、市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図るため、新たな市街化区域の開発事業が推進するよう、開発事業者や関係機関との協議や調整に合わせ必要な法手続きを進めます。 3 引き続き、地域のアイデンティティの醸成や 2nd ラインを含めた利用拡大を進めるとともに、にいがた 2km エリアを中心とした露出拡大などの取り組みを通じて、地域産業の振興と亀田縞の地位向上を目指します。 4 商・農業者と障がい福祉事業所との連携の仕組を強化し、この取組が地域における持続的な取組となるよう、担い手の育成とネットワークづくりを進めます。 5 引き続き、業務や窓口の改善活動を推進します。